

【CL名】上野さん 【解答者】アオちゃん 【作成日】2023年9月23日 【作成時間】40分

設問

【問い1】今ならどのような質問ができるか。

- ・役職定年制度によって、上野さんにはどのような影響があると思われませんか？
- ・「やりたくてやめているわけではない」とは、どうしてそのように思われるのでしょうか？
- ・「まるまる制度のおおりの受ける」と仰いましたか、そのことについてどう思われますか？
- ・差し支えなければ、総務部の仕事を誰もやりたくないというのはなぜか伺えますか？
- ・上司や同僚の方とは、今回の役職定年制度について何かお話しされましたか？
- ・総務部のお仕事で、仕事の領域が広いとはどういうことなのでしょう？

【問い2】良かった点と悪かった点（各2行）

事例ⅠのCCT8（相応しい・相応しくない）

理由：役職定年制度に対するモヤモヤや納得いかない気持ちを傾聴し、相談者が30年以上会社に貢献してきたお話を伺うことができ、信頼関係が構築できつつある点。

事例ⅡのCCT9（相応しい・相応しくない）

理由：相談者が繰り返して「やりたくてやめているわけではない」と発言しているにも関わらず、十分に焦点を当てることができず、言葉の背景にある事情や思いを伺えなかった点。

【問い3】クライアントの主訴

人事部から役職定年制度の発表があり、対象条件の55歳以上に相談者があつたと該当することから、制度の影響をまるまる受けるため、理不尽でありついでに感じていいる。総務部の仕事はいろいろな部署から頼られ、やりがいがあると感じている一方、誰もやりたくなくて後任が決まらないから引き受けたという経緯があり、やりたくてやめているわけではなく会社に貢献しているのにこんな目に遭うなんてと納得いかない。

【問い4】今後の展開（どのように進めるか）

役職定年制度について納得いかない気持ちに寄り添い、引き続き信頼関係を構築する。総務部の仕事について「やりたくてやめているわけではない」という思いを伺い、役職定年後にどのような仕事や働き方をしたいか自己理解を深めていただく。制度について情報が不足しているため、人事部から情報収集を促し、ご家族や上司とご自身の役職定年に対する思いや今後の働き方についてコミュニケーションを取る機会を提案する。これにより、相談者がモヤモヤを解消し、納得のいくキャリアが描けるよう支援したい。